自由投稿
「 飛
「飛翔」という,総科学部内紙がある。みんな知
っているのだろう力、どういうゎけか,私はその編
集委員にならされてしまった。「冗談じゃない。忙
しいのに,こんな ｀毒にも薬にもならない、学部内
紙に関わっていられるか」 というのが,本音である。
私を除く編集委員は,みんなまじめである。「飛
翔」における｀不肖、の編集委員は,私だけのよう
である。しかし,私以外の編集委員が熱心に仕事し
ているのを,私は,妙に醒めた日で見てしまう。ど
うしても,没入していくことができないのである。
「学部に骨を埋める」という言葉を耳にしたことが
ある。それは,別に悪いことだとは思わないのだが
サークル活動等で時間をとられず,活動の場を専ら
学部内と定めている人を対象とした言葉であろう。
総科というところは,たしかに,他学部にない,
得がたい雰囲気を持っていると思う。しかし,妙な
連帯感で個人を束縛するきらいがあるのも事実であ
る。一見,総科は自由で,そこにいる学生ものびの
びとやっているような印象を受けるが,人によって
は,また,時によっては,その雰囲気が重荷になる
こともある。すなわち,個人が,学部のわくを外れ
て,飛び出すことが難しいのである。
話を「飛翔」の方に戻そう。以前,こんな会話を
耳にした。「私は飛翔の編集委員」「 ヒショウ?あ
あ,そう言えば,そんなのもあったな」何たる認識
の低さだろう。しかし,考えてみれば,これは,当
然の反応かもしれない。年 5回にも満たない発行回
数 (何も回数をやたら多く出せばよい,といぅもの
ではないが,少ない発行回数が,印象を薄くしてい
るのも,事実である),加えて,どこでどうすれば手
に入るのかわからないという,入手システムのまず
さ。そして,何よりも,読者を引きつけるだけの内
容に乏しいということがある。少し,きびしい見方
をすれば,月並なことを書いて,編集委員の自己満足
に終始し,完成した,さして素晴らしいとも言えぬ
印刷物の山を見て,編集上の苦労を確認したら終わ
り,という,何ともむなしいことをやっている,と
も言える。私のこの原稿にしても,活字になること
泉哲也
はあるかもしれないが,多くの人の目に触れること
はないのではないかと思う。 (それがわかっていて
これを書いているのは,私もまた,自己満足に浸る
ために書いているということになろうか。)
私が,読者としての立場に立ったとすると,やは
り,面倒くさがって,「飛翔」など読まないのでは
ないかと思う。「 飛翔」などあってもなくても同じ
と思っている人は多いであろう。実は,ある教授が
「飛翔」やめちまえ,と思っている。」という,発言
をされたことがある。学生間だけではなく,教授間
にも,『「飛翔」不必要論 』はあるらしい。
しかし,本来ならば,「飛翔」は重要な働きをし
なければならないはずである。積極的に問題提起を
し,情報提供を行なう。学生と学校側を結ぶパイプ
ラインにもならねばならない。このような働きが,
現実には,なされていないことが問題なのである。
印刷過程上の問題で,どうしても,同時性 ,即報性
がない,というハンディはあるが,その分,内容を
充実させて,「飛翔」本来の働きをさせることが必
要である。
月並なことを書いてしまったが,生まれて間もな
い総科が,その将来を期待されるように,「飛翔」
の今後に期待する。総科と「飛翔」の結びつきも,
もっとしっかりする必要があると思う。編集委員の
側だけが熱意を持っていて,その熱意が学生の側に
は伝わらない,というのは,さびしいことであるし,
「飛翔」が金を食うだけの無用の長物のまま終わっ
てしまっては何にもならない。
EllD
翔 」
1年
´
ゝ

囀0¨呻―・ 大学・研究所めぐり
その 1
-― Lund大学遺伝学研究所 ――
飾〆e denの南端部に位置する Lund大学の一角,
静かな環境の中に遺伝学研究所がある。ここには現
在も立派な研究者がいるが,今までにも多くのすぐ
れた遺伝学者が育った。
ヒトの染色体数を決定したA Levan,植物遺伝
学者であり世界的な遺伝学雑誌 Heredtasの編集を
続けているA‐ Muntzing,動物染色体研究の G
Levan,植物遺伝学者の A・ Gtttatton, 染色体
B and研究の K Fredgaらが活躍中である。
また,ここで研究した人のうち 」 H TJio(染色
自然環境研究・教授
瀬り‖ 道治
体研究),T Caspersson(核酸研究),B.A.
Kihlman(環境変異原研究),A.Lima― de―
Faria(核酸研究),W W Nichols(ビールスと染色
体異常の関係の研究)らは有名である。
(写真説明 :研究所正面,四階が図書室で講堂,動
物飼育室,圃場,温室等は本館の裏にある。)
この原稿を書いている現在,国家公務員上級職を
始め,裁判所職員 ,労働基準監督官,税務専門官や
地方公務員上級職の試験が終了して,一次の発表が
行なわれている。また教員採用試験も終了し,一次
の発表待ちで,それぞれ受験した人は一段落という
ところ ?
今年の地方公務員試験,教員採用試験の日程は,
7月下旬に集中され,あまり多く重複しての受験が
出来なくなっている。
「就職委員会だより」
厚生補導係・主任
牧野 央
また,私学の教員については,各県で,私学連に
よって統一試験を行なう所が多く,受付けは,10月
頃に行われるので注意しておくこと。
一般企業については,例年通り, 8月 16日企業よ
り求人票の発送, 9月 14日学生に対し掲示,10月 1
日以降会社訪問,11月 1日以降試験,という日程で
行なわれる。
一般企業に就職を希望する学生は,指導教官・各
コースの就職委員教官と相談し,企業研究を行ない,
-22-

この飛翔が発行される頃には,最後の詰をし,厚生
補導係と連絡を密にするよう心掛けてほしぃ。
また現在厚生補導係に提出されている,進略調査
カードを見ると,まだ進路,特に就職については公
務員,教員 ,企業の選択が出来ず,友達が記入した
ので,というのもあり,また一般合業の会社名にお
いては,あくまでも希望的なもので,業種など問題
なく,ただ知名度の高いのを羅列しているが,意志
が決定した時点において,厚生補導係に連絡してほ
しい。
また,就職に対する専門の考え方もあまく,企業
就職,即専門職の考えが多い。 (入社後すぐ専門的
な仕事でないと云って退職した人もいる。)なお専門
に対する,資格試験があるものは,出来るだけ取得
するよう努力することが望ましい。このような事が
あるので,就職に対する準備は3年次に始めるとよ
い。
一般舎業については,10月 1日以降の会社訪間に
対し, 9月に志望企業を決定 ,あらかじめ訪問日程
を作成し,それによって行動する,企業によっては
即面接の所も多々あるので,服装には注意しておく。
(昨年面接時にジーンズで行った人は即刻断わられ
た。)また面接で,急な呼出しがあるので,いつも対
処出来るよう連絡先を明確にしておくとと:‐
面接時に学部に対する質問,卒論・志望動機。学
生生活等々の質問に対し明朗,的確に答える。また
5,6人で討論する時もある。以上の事をえて,11月
の受験となり,11月中旬決定の運びとなる:■
なお,公務員,教員志望の人は10月以後 1月噴に採
用名簿登載,決定は2,3月頃になるが,名簿登載,
即採用ではないから安心してはおれない。また就職
しても,特に企業の場合,一年以内で退職すると,
後輩に迷惑がかかるので,絶対に退職しないように
地域文化社会文化
してほしい。
今までの例だが,総合科学部に来ている求人につ
いて,受験すれば,即採用と思い込んでいる者が多
く,不採用になったと不平を云う人もいたが,就職
に対し,本人の努力と気迫をもって,挑んでもらい
たい。なお,公務員:教員においては,受験した所,
また結果を,一般企業においては,訪問先と結果を
逐次,厚生補導係に連絡することをお願いします。
最後に50年度生の進路について記しておく。
民間企業名
地域文化 || 1 社会文化
・親和銀行 |■ ||| ・ 内田洋行
‐広島相互銀行 ■ 。片岡物産
■愛媛信用金庫 。東食
・大塚グル=プー ・住金物産
。日本航空 。三菱商事
。中国放送 ・十和
・YMCA ‐ 。国際コミュニケーション
・タカキベーカリー ・ シャープ
。メガネの田中 ・山陽コカ .コーラー
・ 日本ハモンド ・ 日本電装
・第 1学習社 ‐ 。大塚グループ
。山陽コカ .コーラー 。日本国有鉄道
・和歌山農協
。大阪有線
・ アンピック外語学院
情報行動科学
。東京芝浦電気 ‐
・不二家
・ リコー教育機器
環境科学
・ 神戸製鋼
・ ミサワホーム
。日特建設
。日本 1.B.M.
・ 宅地開発公団
。純正食品コダマ
情境
″
公務員
376%
進学
50%
企業
50%
-23-